



今日も心の栄養として・・・＜高木セレクト、声を出して読んで欲しい、一押しの詩＞

またまた**突然ですが、読んでくれば嬉しいです！**

◆今日は懇談会最終日、そして明後日24日で2学期が終わる。金曜日1限は、清掃活動。。家庭でも年末には、家の大掃除があるかな？そのときは、受験勉強を少し休んで、しっかりと手伝ってほしい。そこで「便所掃除」の詩を・・・

◆この詩は、映画「男はつらいよ」（君たちは知らないよね！）の第何作かは忘れたけど、伊藤 蘭（元キャンデーズ）がマドンナ役で出演し、渥美清が演じるところの「フーテンの寅さん」を頼って、東京に「職」を探しに田舎から出てくる。そして、働きながら夜間定時制高校に通うことになる。その授業（国語）シーンで、この詩が使われていた。

便所掃除

濱口 國雄

扉をあけます
頭のしんまでくさくなります
まともに見ることが出来ません
神経までしびれる悲しいよごしかたです
澄んだ夜明けの空気もくさくします
掃除がいっぺんにいやになります
むかつくようなババ糞がかけてあります

どうして落ち着いてしてくれないのでしょうか
けつの穴でも曲がっているのでしょうか
それともよっぼどあわてたのでしょうか
おこったところで美しくなりません
美しくするのが僕らの務めです
美しい世の中も こんな処から出発するのでしょうか

くちびるを噛みしめ 戸のさんに足をかけます
静かに水を流します
ババ糞に おそろおそろ箒をあてます
ポトン ポトン 便壺に落ちます
ガス弾が 鼻の頭で破裂したほど 苦しい空気が発散します
心臓 爪の先までくさくします
落とすたびに糞がはね上がって弱ります

かわいた糞はなかなかとれません
たわしに砂をつけます
手を突き入れて磨きます
汚水が頭にかかります
くちびるにもつきます
そんな事にかまっていられません
ゴリゴリ美しくするのが目的です
その手でエロ文 ぬりつけた糞も落とします
大きな性器も落とします

朝風が壺から頭をなで上げます
心も糞になれて来ます
水を流します
心に しみた臭みを流すほど流します
雑巾でふきます
キンカクシのうらまで丁寧にふきます
社会悪をふきとる思いで力いっぱいふきます

もう一度水をかけます
雑巾で仕上げをいたします
クレゾール液をまきます
白い乳液から新鮮な一瞬が流れます
静かな うれしい気持ちですわっています
朝の光が便器に反射します
クレゾール液が糞壺の中から七色の光で照らします

便所を美しくする娘は
美しい子供を産むといった母を思い出します
僕は男です
美しい妻に会えるかも知れません

◆最後の4行がイイやろ！それまでのリアルな描写もイイ！

濱口さんは、旧国鉄＝今のJRの職員だった。

まだ、水洗トイレも整備されていなかった時代の詩である。

◆明後日1時間目の大掃除、しっかり清掃活動に取り組んでくださいネ。

いつまでも新校舎（君の心）が美しくありますように・・・

美しい子供や妻に会えるといいね・・・

トイレの神様

作詞：植村花菜・山田ひろし 作曲：植村花菜 編曲：寺岡呼人

小3の頃からなぜだか
おばあちゃんと暮らしてた
実家の隣だったけど
おばあちゃんと暮らしてた

毎日お手伝いをして
五目並べもした
でもトイレ掃除だけ苦手な私に
おばあちゃんがこう言った

トイレには それはそれはキレイな
女神様がいるんやで
だから毎日 キレイにしたら 女神様み
べっぴんさんになれるんやで

その日から私はトイレを
ピカピカにし始めた
べっぴんさんに絶対なりたくて
毎日磨いてた

買い物に出かけた時には 二人で鴨なんば食べた
新喜劇録画し損ねたおばあちゃんを
泣いて責めたりもした

トイレには それはそれはキレイな
女神様がいるんやで
だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに
べっぴんさんになれるんやで

少し大人になった私は おばあちゃんとぶつかった
家族ともうまくやれなくて 居場所がなくなった
休みの日も家に帰らず 彼氏と遊んだりした
五目並べも鴨なんばも 二人の間から消えてった

どうしてだろう 人は人を傷付け
大切なものをなくしてく
いつも味方をしてくれてた おばあちゃん残して
ひとりきり 家離れた



上京して2年が過ぎて
おばあちゃんが入院した
痩せて 細くなってしまった
おばあちゃんに会いに行った

「おばあちゃん、ただいまー！」ってわざと
昔みたいに言ってみたけど ちょっと話ただけだったのに
「もう帰りー。」って 病室を出された

次の日の朝 おばあちゃんは
静かに眠りについた
まるで まるで 私が来るのを
待っていてくれたように

ちゃんと育ててくれたのに 恩返しもしてないのに
いい孫じゃなかったのに
こんな私を待っててくれたんやね

トイレには それはそれはキレイな
女神様がいるんやで
おばあちゃんがくれた言葉は 今日の私を
べっぴんさんにしてくれてるかな

トイレには それはそれはキレイな
女神様がいるんやで
だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに
べっぴんさんになれるんやで

気立ての良いお嫁さんになるのが
夢だった私は
今日もせっせとトイレを
ピーカピカにする

おばあちゃん
おばあちゃん ありがとう
おばあちゃん
ホンマに
ありがとう

